令和６年第２回黒部市議会３月定例会
提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）通告要旨
■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 中村裕一	１　地域防災力の充実強化について	
		(1)　木造住宅の耐震化について ２月３日の北日本新聞の記事によると、現行の耐震基準が導入されていない1980年以前に建てられた住宅の割合を市町村別に見ると、本市は33％、1月２５日の読売新聞には取材を基にした県内市町村の耐震化率のグラフが出ていました。 そこで、本市の木造住宅の耐震化率、目標とする指針、支援制度について、併せて耐震改修をより身近に感じていただくことも大事と思いますが、どのように促進していくのか伺います。	都市創造部長
		(2)　上下水道管の耐震化について 能登半島地震によって氷見市や高岡市では広域で断水し、復旧に相当の日数を要しました。 インフラの中でもライフラインとして上下水道の老朽化対策を着実に進めていくことが大事だと思います。 そこで、上下水道管について、耐用年数、その年数を経過した管の割合、耐震化計画について伺います。	都市創造部長
		(3)　情報伝達手段の多重化について 津波被害から人的被害を最小限に抑えるには早期避難が重要であり、そのためには避難に関する情報を早期に確実に伝達することが不可欠です。 先月11日夜の7時から9時頃、石田地区で断水や水圧低下が発生した際に原因や復旧見込みに関する周知がなされなかった事例もあります。広報車での巡回や、まさに防災行政無線でいち早く周知すれば住民の混乱は無かったと思われます。 また、昨今のICTの発展から現在防災行政無線、戸別受信機、みらーれTV、ラジオミュー、市ホームページ、市公式ラインなど多くの情報伝達手段が存在しますが、それぞれ情報が届きにくい人を把握することで課題が見えてくると思います。 その上で、これらの組み合わせの選択が大事だと思いますが、情報伝達手段の多重化について伺います。	防災危機管理統括監

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
		1　地域防災力の充実強化について	
1	自民クラブ 中村裕一	(4)　地域防災リーダーの育成について 　市が取り組む公助のほかに、一人一人が自ら取り組む自助、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む共助が重要です。 　先の避難所開設時でも市職員のマンパワーだけでは限界があることを知らしめられました。 いざというときに必要な活動ができるようにするためには、日頃から、住民の皆さんが地域の災害のことについて一緒に勉強したり、訓練したりして、一つにまとまっていることが大事です。 そのためには、リーダーを養成することは大変重要なことですが、防災士の育成状況について伺います。	防災危機管理統括監
		(5)　自主防災組織の実態調査について 自主防災組織は自治振興会、町内会とほぼ重なっているため、自治振興会、町内会の課題がそのまま組織の課題に直結します。役員や組織全体の高齢化、役員の入れ代わりによるスキルの低下、地域による意識の格差、防災訓練のマンネリ化などが挙げられます。 市内の自主防災組織の弱点がどこにあり、何をすれば強化できるかを分析する必要がありますが、その実態を把握できていないと思われます。 そこで、実態調査を行ってはいかがでしょうか。 活動の状況を把握することで、活発に活動する自主防災組織のノウハウを他の自主防災組織にフィードバックすることができるとともに、今後、市が防災施策を展開するうえにおいても重要な基礎資料を得られることにもつながります。	防災危機管理統括監
		(6)　防災対策の再点検について 防災対策は住民の皆さんにも一緒に行動してもらわなければなりません。男性も女性も、若い人も、中高年の人も、それぞれの役割を果たしてもらって、みんなの力が一つにまとまらなければなりません。石田地区が実施したアンケート結果は今後の津波対策を検討していく上で貴重な資料となると思いますがいかがでしょうか。 地域防災力の充実強化に向けた防災対策の再点検について、市長の所見を伺います。	市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 中村裕一	**2　令和６年度当初予算案（財政運営指針に基づく財務規律の堅持）について**	
		(1)　今後の財政見通しについて 第2次黒部市総合振興計画　後期基本計画における財政見通しについて、歳入、歳出でどのような変化を想定しているのか。 また、その変化はどの程度の影響があるのか伺います。	総務管理部長
		(2)　財務規律＜抑える＞について 財政の弾力性を高める財政構造の見直し＜抑える＞では、財政健全化判断比率の適正化、特別会計、企業会計繰出金の抑制、スクラップ＆ビルドの徹底、省エネの促進、受益者負担の適正化、未利用財産の活用とあります。 これらの取組内容について伺います。	総務管理部長
		(3)　財務規律＜備える＞について 将来負担を見据えた財政基盤強化＜備える＞では、交付税措置のある市債の活用、市債発行額の抑制、繰上償還とあります。 これらの取組内容について伺います。	総務管理部長
		(4)　財務規律＜量る＞について 財務マネジメントの強化＜量る＞について、総合振興計画実施計画のローリングと連動させた中期的な視点での事業の精査、公共施設のマネジメントの推進、統一的な基準に基づく財務諸表の作成と効果的な活用とあります。 これらの取組内容について伺います。	総務管理部長
		3　令和６年度当初予算案(特別枠「黒部の未来枠」)について	
		(1)　物価高騰対策について 物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に必要な支援ができる「推奨事業メニュー」について、限られた財源をいかに効果的に市民や事業者の皆様に届けるか検討しているところとありました。 目玉と位置付ける具体的な事業内容について伺います。	市　長
		(2)　賃金引上げ対策について 国や県のメニューを活用した事業をはじめ、国・県では手の届かない部分で市が独自に取り組むことができる事業がないか精査していくこととしているとありました。 目玉と位置付ける具体的な事業内容について伺います。	市　長

質問順	会　派　名 質　問　議　員	質　問　事　項	答　弁　者
1	自民クラブ 中　村　裕　一	４　黒部駅施設整備事業について	
		(1)　整備手法が変更となったため駅施設の全体計画について 駅施設、駅西広場、駅西駐車場等それぞれの概要について、具体的にイメージできるよう、規模や配置計画について伺います。	都市創造部長
		(2)　整備手法が変更となったため整備スケジュールについて 整備手法について、これら駅施設は一体的に着工し、一体的に完成するのか。 それとも個別に順序立てて着工するのか。その場合、供用開始は個別か、全体が完成してからとなるのか伺います。	都市創造部長
		(3)　整備手法が変更となったため整備期間の考え方について これから基本設計に着手し、着工を経て供用開始までには恐らく10年近くかかることになると察します。 民間事業と単純に比較するわけにはいかないと思いますが、構想から実現までのスケジュール感について、市長の受け止め方、考えについて伺います。	市　　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 中野得雄	**1　能登半島地震関連について**	
		(1)　震災による避難者について、現在当市が行っている支援施策についてはどの様な事案が有るのか、また、今後実施する支援施策について伺う。	市長
		(2)　被災された方が今後、黒部市での定住を選択された場合どの様な支援を行う事が出来るのか伺う。	市長
		(3)　能登の様な震災が当市で発生した場合、被災者対応として長期の避難所などについて民間施設との協定や、新たな避難所の設定を検討すべきと考えるが如何か。	市長
		(4)　当市において震災が発生した場合の生活ごみや震災ごみの収集、また、ごみ集積場所等について事前に新川広域圏や民間事業所と協議を行い、協定を結んでおくことが重要と考えるが当市の考えについて伺う。	市民福祉部長
		(5)　今後の市の防災訓練については、地震・津波・火災を想定した内容とし、更には避難所運営訓練にも注力した内容にすべきと考えるが当市の考えは如何か伺う。	防災危機管理統括監
		(6)　災害時の避難・対応などをまとめた緊急時必携的な冊子を全世帯に配布しては如何か伺う。	防災危機管理統括監
		2　宇奈月温泉スキー場について	
		(1)　令和4年度において、前市長が宇奈月温泉スキー場継続について当時述べているが、あらためてその内容について伺う。また、その後時代に則した変更や改正を行う考えは有るのか伺う。	市長
		(2)　来年度、今年度を上回る49,884千円の予算が計上されているが今後、温暖化による積雪不足の影響が避けられない事が想定される中、今後のスキー場運営についてどの様な協議がなされているのか伺う。また、当市としてはスキー場運営を断念する考えは無いのか伺う。あるとすればどの様に想定しているのかを伺う。	市長
		(3)　スキー場存続については、グリーンシーズンの活用が欠かせないものと考える中、大原台自然公園に設置してある地元宇奈月出身の彫刻家、佐々木大樹氏作の「平和の像」をアピールした集客事業についての協議についてはどのようになっているのか伺う。	産業振興部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 中野得雄	３　黒部市内で現在使用されていない公共施設の今後について (1)　旧市民会館、旧図書館、旧宇奈月中学校など、現在使用されていない公共施設は市内にいくつあるのか伺う。また、すべて解体とした場合の経費について伺う。 (2)　上記の構造物についての当市の計画を伺う。また、協議が進んでいる事案があれば、詳細を伺う。	総務管理部長 総務管理部長
		４　今後の市政運営について (1)　新年度予算にも計上されている、市長の公約である「出かけやすい街づくり、出かけて楽しい街づくり」に向けた公共交通についての構想を伺う。 (2)　市長任期が折り返し点となったが、任期後半についての思いと施策について伺う。	市　長 市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 成川正幸	１　本市の経済動向について (1)　能登半島地震の経済への影響と今後の動向はどのように分析しているのか伺う。	総務管理部長
		２　防災対策について (1)　子どもたちの防災知識の向上に向けて、出前講座の開催を出来ないのか伺う。 (2)　災害時のトイレ確保についてどのような備えをしているのか伺う。	防災危機管理統括監 防災危機管理統括監
		３　観光振興について (1)　観光政策の強化として黒部市全体・新川地域が恩恵を受ける形での政策展開とは、どのような取り組みを考えているのか伺う。	市　長
		４　自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり (1)　「ゼロカーボンシティ宣言」を行うにあたり、令和5年度はどういった取り組みをしてきたのか。また今後どのように取り組みを進めていくのか伺う。	市　長
		５　地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり (1)　今後、複業人材活用事業をどのように進めていく予定なのか伺う。 (2)　昨年、黒部峡谷欅平にある欅平ビジターセンター内にテレワーク専用スペースが開設されたが、その後のテレワークの計画はどうか。 また、テレワーカー誘致企業の獲得・定着に向けた今後の取り組みはどうか伺う。	市　長 市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 成川正幸	５　地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり	
		(3)　これまでの実践型インターンシップの成果、その他にも「おてつたび」や岐阜県飛騨市が行っている「ヒダスケ」のような取り組みも検討しても良いのではないか。所見を伺う。	市　長
		(4)　関係人口の創出にもつながるNFTの発行などを行ってはどうかと考えるが、所見を伺う。	市　長
		６　都市基盤の充実した住みやすいまちづくり	
		(1)　本市においても、パークPFI導入に向けた「黒部市都市公園」に関するアンケートを昨年11月に実施しているが、その結果どうだったのか。またパークPFIの導入の考えを伺う。	都市創造部長
		(2)　子ども達が屋外で元気に遊べる「冒険遊び場（プレーパーク）」の設置について、所見を伺う。	市民福祉部長
		７　健やかで、笑顔あふれる、ぬくもりのあるまちづくり	
		(1)　中心市街地で電動小型カートを走らせる実証実験をスタートさせるとあるが、公共交通の促進の観点で、どういうまちを想像しているのか伺います。	市　長
		(2)　アプリを活用した歩きやすいルート紹介マップや、ウォーキング健康ポイントを付与してはどうか伺う。	市民福祉部長
		(3)　気軽に立ち寄れる場所、病気になる前に健康について気軽に相談できる場所として、まちなか保健室の整備をしてはどうか伺う。	市民福祉部長
		８　市民と行政がともに支えるまちづくり	
		(1)　「黒部市未来会議」や「マイプロジェクト発表会」等、住民参加型イベントをやっていく中で参加者やまちには、どんな変化があったのか、また、やり続けていく事への目標を伺う。	市　長

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	大辻菊美 (一問一答方式)	**1　災害時の備えについて**	
		(1)　ハザードマップを紛失した世帯への配布について、また、配布が可能であれば周知について伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　避難場所には、「ここは標高何メートル、海岸から何メートル」と標識が立ててあるが、日頃から目に付く場所に標高を示す標識が必要である。設置について伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　保育所等では「おむつのサブスク」が導入予定である。それに併せて災害時の備品として紙おむつを備蓄することで運搬の軽減につながるのではないかと思う。見解について伺う。	防災危機管理統括監
		(4)　避難場所や避難所において、出入口が階段状になっている施設や施設内で段差がある施設がある。車イスの方などがスムーズに避難できるように簡易スロープ等の配備が必要と思われる。配備について伺う。	防災危機管理統括監
		2　うるおい4600ベルトパーク「ハッピー広場」の有効活用について	
		(1)　「うるおい4600ベルトパーク」を幅広く市民に知ってもらうための周知について伺う。	産業振興部長
		(2)　基本方針に「ふれあいの場の創出」「スポーツ・リクリエーションの場の創出」がある。「ハッピー広場」が有効活用できるような取り組みが必要である。本市の見解を伺う。	産業振興部長
		3　煌２０２５プロジェクトについて	
		(1)　地域支え合い推進事業がスタートして、10年が経とうとしている。週1回以上開催できなくなった「通いの場」があるのではないか。実施会場数、また、活動状況について伺う。	市民福祉部長
		(2)　週1回以上開催できなくなった要因について、また、本市の対応について伺う。	市民福祉部長

質問順	質　問　議　員 (質　問　方　式)	質　問　事　項	答　弁　者
		３　煌２０２５プロジェクトについて	
1	大　辻　菊　美 (一問一答方式)	(3)　「地域の通いの場」マップがある。新しく作成する予定があるのか、また、活用方法について伺う。	市民福祉部長
		(4)　来年2025年を迎えるが「煌2025プロジェクト」は、現状において目標数値に達したのか伺う。	市民福祉部長
		(5)　2025年以降、地域支え合い推進員の高齢化とともに今後の10年はどのような取り組みを行っていくのか伺う。	市　　長
		(6)　地域支え合い推進員養成講座の現状について伺う。	市民福祉部長
		(7)　介護支援サポーターポイント事業について、活動を行える事業所の数、また、活動状況について伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	辻　泰久 (一問一答方式)	1　北方領土問題について (1)　北方領土返還要求全国大会に於いての岸田総理大臣の発言についての所感を求めます	市　長
		2　森林環境譲与税について (1)　本市にはどれくらい譲与される予定か伺います	総務管理部長
		(2)　山林のないところにも譲与されるとの事(人口割)であるが、配分が不公平ではないか伺う(山林がなくても人口の多いところに多く配分される可能性がある)	総務管理部長
		(3)　使い道はどの様に使うのか伺う	産業振興部長
		(4)　ゼロカーボン宣言をしたが　狙いを伺います	市　長
		3　警察署の再編について (1)　県東部での警察署再編整備が早急に進むよう県警察本部へ一層の働きかけが必要と思うが、市長の見解を求めます	市　長
		4　黒部市民病院の運営について (1)　医師の残業時間原則960時間までとなっていますが黒部市民病院の現状を伺います。	病院長
		(2)　診療科によっては医師数に過不足があるのではないのか伺います	病院長
		(3)　残業を自己研鑽として申告をしないケースがあるのではないか伺います	病院長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	辻　泰久 (一問一答方式)	**4　黒部市民病院の運営について** (4)　2024年度の診療報酬改定で医師･看護師への賃上げ見込み(内容)を伺います	病院長
		5　クマ対策について (1)　本市も県と協力して捕獲計画を作る必要があると思うが所見を伺います	産業振興部長
		(2)　2024年から2026年までの3年間で県の緊急プログラムとして電気柵の設置や棲み分けを図る森林整備を推進するとあるが具体的にどのようなことか伺います	産業振興部長
		(3)　出没件数の多い地域を対象に援助するとありますが本市への支援はどの様になるのか伺います	産業振興部長
		(4)　今後の本市独自のクマ対策について伺います	産業振興部長
		(5)　これまではクマの保護に軸足を置いてきたが「指定管理鳥獣」に指定後は住民の生活と命を守る為、駆除が必要になる場合もあると思うが市長の所見を伺います	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋詰 真知子 (一括方式)	**1　黒部市の防災・減災について**	
		(1)　木造住宅の耐震改修に対しては、いくつかの要件を満たした場合に補助があります。 今住んでいる住宅の耐震化ではなく、建て替えする人に補助する考えはあるか。 また、地震や津波へ備える方法のひとつとして、今住んでいる場所から市内の別の場所へ移る転居の場合に補助する考えはあるのか。市のお考えを伺います。	都市創造部長
		(2)　「黒部市ゆれやすさマップ」は、黒部市内の場所ごとのゆれやすさの目安を知ることができ、地震に備えて避難行動を考える上で役に立つ内容であると感じています。情報を最新の状態に更新し、市の広報に掲載したり、配布するなどして、改めて周知してはどうかと考えますが、市のお考えを伺います。	都市創造部長
		(3)　黒部市緊急情報メールについて、9月議会で一般質問し、その改善を求めましたが、その後どうなったのか伺います。	防災危機管理統括監
		(4)　今回の地震を振り返り、今後について具体的に考えて備えられるような機会を広く市民が参加できる形で開催する考えはあるのか伺います。	防災危機管理統括監
		2　移住・定住について	
		(1)　6人目となる地域おこし協力隊員が1名着任されました。その後、応募締め切りを延長し若干名募集していたと認識しております。問い合わせや応募はあったのか伺います。あわせて、現隊員2名中の1名の任期終了が6月末と迫る中で、今後の募集人数とスケジュールについて伺います。	総務管理部長
		(2)　各隊員に、担当地区を受け持ってもらう構想について伺います。具体的に、どういう地区が対象になるのか。あわせて、選定方法はどう考えているのか。そして、地域おこし協力隊がその地区でどういう状態になることを目指しているのか伺います。	市　長
		(3)　移住・人つなぎ支援センターがオープンしてからこれまでに実際に行った業務内容や相談来場者数などの状況を伺います。 あわせて、市役所の外に設置した成果が感じられているのか伺います。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋詰　真知子 (一括方式)	**２　移住・定住について**	
		(4)　地域協働課を新設したことで、移住・定住の促進についてどのような成果があるのか伺います。	市　長
		(5)　新幹線通勤通学支援補助金がつくられた目的、これまでの利用者の反応、そして成果についてどのようにお考えか伺います。	都市創造部長
		(6)　新幹線通勤通学支援補助金の対象に県内の大学・専門学校なども含めることを検討するお考えはないか伺います。	都市創造部長
		３　タブレットパソコンを用いたＩＣＴ教育について	
		(1)　市内小中学校におけるタブレットパソコンの活用状況について伺います。 導入してからこれまでの活用方法や効果、子どもたちの変化、有効活用している事例などについて伺います。 あわせて、今後のタブレットパソコンの利活用について市の方向性を伺います。	教育部長
		(2)　タブレットパソコンについて、学習道具であること、貸出として使用するものであり丁寧に扱うこと、その利用の内容なども含めて、子どもたちと保護者にさらなる注意喚起や指導の徹底を図るべきと考えます。学校から子どもたちと保護者が一緒に話を聞く場は設けられているのか、周知方法の現状と市の考えを伺います。	教育部長
		(3)　黒部市として、タブレットパソコンを用いたICT教育をどのように進めていくのか方向性を伺います。	教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		1　災害対応の検証について	
4	柴沢太郎 (一問一答方式)	(1)　生地地区で例年行われている津波避難訓練がうまく活かされなかった。課題として、地区に在る避難行動を周知する必要がある。津波避難に関しては、高齢者を中心に避難場所へ行くのではなく、まずは自宅で垂直避難をされるよう周知を行う必要があると考えるが。	防災危機管理統括監
		(2)　指定避難場所において主導する組織が不明なため、混乱を招いた場所がある。音頭をとるのは自主防災組織なのか、町内会なのか、市なのか。一体どこが主導するのか決めておくべき。	防災危機管理統括監
		(3)　自宅を出ると情報を得る手段が限られてしまうことから、災害発生時の情報発信として、市ホームページでの発信や防災メール配信、そこからの市公式LINEへの誘導・登録等を推進すべき。	防災危機管理統括監
		(4)　他の避難所から物資や備蓄品を取りに来ていた者もいたが、遠方まで取りに来なくていいよう、各地区の主要な避難場所に必ず一定数量置くことや、物資の把握に努めるべき。	防災危機管理統括監
		(5)　避難場所において高齢者や要介護者の誘導が困難であったことから、車椅子の状況確認・階段への手摺設置などバリアフリー等も考えるべき。	防災危機管理統括監
		(6)　全国どこの地域で起きてもおかしくなく、頻発化している豪雨災害への対応として、今回の課題は速やかに対応して頂きたい。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		２　市有財産（ハコモノ）の地縁団体への譲渡について	
4	柴沢太郎 (一問一答方式)	(1)　過去、市有財産(ハコモノ)を地区等へ譲渡する場合は手直しした上で譲渡するという話を記憶しているが、その旨が取り決められた5W1Hを確認したい。	総務管理部長
		(2)　過去にハコモノを地縁団体へ譲渡した事例と、それらの現況は。	総務管理部長
		(3)　譲渡されたハコモノが破損したり老朽化した場合、財政的に余裕がない地縁団体が修繕・取り壊しを行うことは困難である。営利目的での譲渡は論外ではあるが、基本、市が建てた物は市が修繕や取り壊しをすべきであると考えるが。	市　長
		(4)　公共的な目的で使用されているものにあっては、修繕が困難である場合、市や地区が主体となって行っている数多くのイベントや行事の開催に大きな影響が出る。旧生地東部保育所は再協議が必要であると考えるが。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	古川和幸 (一問一答方式)	1　すべての人にやさしいまちづくりに向けた標識等について	
		(1)　全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けた「改正・障害者差別解消法」が、令和6.4.1より施行されます。これについて市長の見解を伺う。	市長
		(2)　市内の公共施設における障がい者等に関するマーク・表示案内図・標識（ユニバーサルデザインマーク含め）等の現在の設置状況について伺う。	市民福祉部長
		(3)　スクールゾーン(交通安全対策の重点地域）に対して、多くの方々に認知しやすくするために標識や白線を標示して、子ども達の交通安全を図る取組を行う自治体が多く見受けられます。本市におけるスクールゾーン設置検討について伺う。	教育部長
		(4)　上記に伴い、スクールゾーンとして標識・白線の他にどのような整備方法があるのかについて伺う。	都市創造部長
		2　くろべ市民交流センター「あおーよ」施設運営について	
		(1)　市外に向けた魅力発信や移住相談、市外から来られた複業人材と黒部の企業等とのマッチングなど、「人」と出会える場づくりの役割を担う移住・人つなぎ支援センターにおける、これまでの活動内容や移住相談における問合せ件数や来訪者数について伺う。	総務管理部長
		(2)　移住・人つなぎ支援センターにおける土日・祝日対応（案内表示含め）について伺う。	総務管理部長
		(3)　ほがらか子育て支援センターについて、開館曜日を変更（月・水～土曜日）したことにより、どのような変化があったのか伺う。又令和6年度における新たな取組があれば伺う。	市民福祉部長
		(4)　あおーよ図書館について、現在における図書館来館者数・利用者人数（本予約状況含め）の現状について伺う。又令和6年度における新たな取組について伺う。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	古川和幸 (一問一答方式)	2　くろべ市民交流センター「あおーよ」施設運営について	
		(5)　メインアプローチ右側の賑わい空間(旧北銀跡地)における、今後の賑わい創出計画について伺う。	総務管理部長
		(6)　公共交通における市内路線バス(コミュニティバス運行)の「あおーよ」付近へのバス停留所設置(試験運行含め)について伺う。	都市創造部長
		3　インフルエンザ予防接種助成について	
		(1)　黒部市における現在のインフルエンザ予防接種費助成事業(高齢者インフルエンザ予防接種・黒部市子どもインフルエンザ予防接種)の令和5年度の接種状況について伺う。	市民福祉部長
		(2)　黒部市民の感染症重症化予防の為、市民へのインフルエンザ予防接種のPR活動(告知含め)について伺う。	市民福祉部長
		(3)　黒部市こどもインフルエンザ予防接種費助成事業において、現在の小学生～中学生対象範囲を、子ども医療費同様に高校生まで拡充を行う考えはないのか伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	松倉孝暁 (一問一答方式)	**1　防災上の課題について**	
		(1)　避難所等で使用する災害用トイレの備蓄数について伺う 氷見市も含め多くの能登地域において発災後断水状態になったことを考え、水道断水時の想定をする必要がある。ラップポン(凝固剤付き簡易トイレ)の活用・もしくは類似品等で備える必要性を併せて伺う	防災危機管理統括監
		(2)　防災行政無線ではどのような情報を流されたのか、その活用について伺う。併せて今後の利活用において課題とするところがあれば伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　視覚障害者にとってはハザードマップの利用は困難である。視覚障害者の避難行動に有効である情報を音声で得られる『耳で聞くハザードマップ』の導入について伺う	防災危機管理統括監
		2　中心市街地の活性化施策について	
		(1)　くろべ市民交流センター『あおーよ』が開館して間もなく半年をむかえようとしています。見えてきた成果と課題を伺う。併せて年間来場者見込みを25万人としましたがその来場者計画に対する進捗を伺う。	総務管理部長
		(2)　『あおーよ』においては、駐車場をもっと整備すべきとの意見が多い。現在の来場者の推移をふまえ、新たに駐車場を整備すべきと考えますが所見を伺う。	総務管理部長
		(3)　『あおーよ』においては、キッチンカーの常設など飲食に関連するニーズが強いと考えるが所見を伺う。	総務管理部長
		(4)　空き家対策の推進に関する特別措置法で管理不全空き家が定義付けされた。固定資産税の特例措置から外れるため、慎重な取り扱いが求められるが、一方で特に中心市街地においては空き家の売却意欲につながる等の効果も期待できる。市としてこの取り扱いを伺う。	都市創造部長
		(5)　小型電動カート導入の意義やコンセプトについて所見を伺う。 併せてその電動カートの車両は定員等どのようなカートなのか内容を伺う。	市　長
		(6)　市民会館・働く婦人の家跡地をどのように考えるか所見を伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	松倉孝暁 (一問一答方式)	３　令和６年度予算に関連して	
		(1)　障害者の日常生活に必要な用具の品目を定めて、その費用の一部を助成する日常生活用具給付事業を実施していますが、この用具費用の物価高騰対応分の増額補助を検討できないか所見を伺う。	市民福祉部長
		(2)　関連して障害者への対応に関する事項ですが、市内公共施設及び公共トイレにおける多目的トイレの設置状況とオストメイト対応のトイレの数を伺う。	市民福祉部長
		(3)　地域振興イベント開催費を計上し、NHKのど自慢を誘致するとのことである。ゲストは今後の打合せを経てNHKからの公表待ちとしているが、本市と縁ある中島みゆきさんを呼べないか所見を伺う	市　　長
		(4)　黒部ルート一般開放に向けた魅力創出・受入体制整備促進事業費や宇奈月温泉開湯100周年＋1事業費を予算計上した市長の思いを伺う	市　　長
		４　黒部市民病院について	
		(1)　病院長に就任され1年が経過しようとしていますが、震災対応等も含めこの1年間を振り返っての所感を改めて伺う。	病院長
		(2)　新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行となり、各種補助金が3月で打ち切りとなる。4月より通常化での体制となるが、経営的な視点での所感を伺う。	病院長
		(3)　2024年問題として医師の働き方改革が示されているが、どのように取り組まれたのか、また一市民としてはなにか変化があるのか伺う。	病院長
		(4)　来院者が気がついた意見等を吸い上げる目的で意見箱を設置しているとの認識であるが、この1年間で特筆すべき意見や改善を図ろうとされていることがあれば伺う。	病院長
		(5)　夜間救急医療体制について 夜間であるため、若い先生が診察していることが多いとの認識であるが、ベテラン医師との相談体制はどのようになっているのか伺う。	病院長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	家敷誠貴 (一問一答方式)	1　令和6年能登半島地震に関連した防災、減災等における本市の取り組みについて	
		(1)　本年1月1日の発災当日、防災無線での情報が有効であったが、黒部市に住んでいる全ての方に情報を届ける必要がある。多言語に対応した防災無線の案内が必要と考えるが、所見を伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　発災当日、避難所の開設状況等、黒部市公式LINEでの発信が有効だったが、各種防災訓練やイベントを活用しLINEやSNSの登録数を増やす必要があると考えるが、所見を伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　発災当日は市内のあちこちで渋滞等がおきたことから、市民一人一人が自分の住んでいる場所、今いる場所はどのような危険性があり、どのような行動をとる必要があるか知る事が重要だと考える。イベント等と連携した防災、減災教室や、町内会等での訓練実施等、身近で小さな単位の訓練が必要だと思うが、本市の取り組みや見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(4)　発災当日、避難所ではエレベーターが使用出来なくなるため、車椅子の方への対応が難しかったと聞いた。車椅子の方や乳幼児、妊産婦等、配慮が必要な方々に対応した避難所運営を行う必要があると考えるが、今後のマニュアル作成や訓練について伺う。	防災危機管理統括監
		(5)　現在黒部市に2次避難されている被災者への就労支援、企業や農業や漁業等のマッチングを行ってはと考えるが、所見を伺う。	市　長
		2　自治（町内）公民館について	
		(1)　令和6年能登半島地震では、本市でも自治(町内)公民館へ避難した方がおられたと聞いているが、自主避難所としての自治(町内)公民館への避難状況等について伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　自治(町内)公民館は住民にとって身近で愛される施設であり、今後も地域の方々が安心して利用するためには、自治(町内)公民館の改築、耐震化や、LED化等の環境に配慮したリフォーム工事等へのサポートを行ってはと考えるが、所見を伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	家敷誠貴 (一問一答方式)	**3　消防、消防団について**	
		(1)　消火用の水が不足している箇所があると聞いている。消防放水汲み上げ箇所の再点検を行う必要があると考えるが、所見を伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　近年、AT限定免許を取得する方が増えている、消防団員のAT限定解除や中型免許取得に対して補助を行うべきと考えるが所見を伺う。	防災危機管理統括監
		4　子育て支援について	
		(1)　現在、全国的に子ども食堂やフリースクールが行われているが、本市でも、空き家、貸しオフィス等を利用しての、子ども食堂や不登校等の支援を行っている団体がある。施設の取得や増改築、賃貸に対して補助を行ってはと考えるが、所見を伺う。	市　長
		5　令和6年度予算に関連して	
		(1)　公共施設予約システム等整備事業費(スマートロック導入費)が計上されているが、スマートロックでの開錠方法について、自主防災組織や消防団等、緊急時に誰がどのように開錠するか等、計画を伺う。	総務管理部長
		(2)　スマートロックを導入する施設において緊急時には、入れる部屋を限定し、すぐに施設に入れるように、遠隔操作での開錠も必要であると考えるが、所見を伺う	総務管理部長
		(3)　小型電動カートの実証運行が予算計上されているが、人が集まる施設や駅などを経由し、利便性が良く、地域に愛され、高齢者や子どもたち、たくさんの方が利用し、安全安心に運行される事が重要と考えるが、計画の内容、スケジュールについて伺う	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	木島信秋 (一括方式)	**1　北陸新幹線　黒部宇奈月温泉駅について**	
		(1)　新幹線駅東公園を商業施設として利用する考えはないか伺う。	市長
		(2)　開業以来、東口広場ロータリーは、路線バス、タクシー専用で、その他の車両は進入禁止である。 一般の普通自動車も利用できないか伺う。	市長
		2　あいの風とやま鉄道　黒部駅について	
		(1)　黒部駅の東西連絡自由通路が計画されていたが、新年度予算に基本構想策定業務や基本設計業務の委託費ほか関連事業費が計上された。 改めて、自由通路から駅西口改札までの整備計画の見直しの内容と活用可能な国の補助制度について伺う。	都市創造部長
		3　あいの風とやま鉄道　生地駅について	
		(1)　令和5年度から黒部市事業として駅移転に関する波及効果など「生地駅周辺調査業務」を実施しているが、その調査結果について伺う。	市長
		(2)　新年度予算にも「生地駅周辺施設検討業務」が計上されているが、1年目と2年目で調査の目的、内容に違いがあるのか伺う。 また、これまでの国への働き掛けも行っているが、国の補助制度の採択についての見解を伺う。	市長
		(3)　YKKAP30ビルや技術館といったハコモノや吉田踏切の新設など、ここ1、2年で駅周辺の景観の変化が見える化してきている。 駅移転事業もスピード感を持って取り組むべきと思うが考えを伺う。	市長
		(4)　駅周辺への生活利便施設(コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパー)誘致に向けての促進施策について伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	木島信秋 (一括方式)	4　富山地方鉄道　電鉄石田駅から宇奈月温泉駅までの16駅について	
		(1)　駅員配置駅はどこなのか、また、駅員配置のない駅における管理体形態について伺う。	都市創造部長
		(2)　16駅それぞれ駐輪場、駐車場、待合スペース、車いすスロープ、トイレの有無について伺う。	都市創造部長
		(3)　駅舎は富山地方鉄道(株)が整備、管理すべきではあるが、公共交通として、その公益性から本市として課題をどう受け止めているのか伺う。	都市創造部長
		5　黒部峡谷鉄道　宇奈月駅から欅平駅までの10駅について	
		(1)　駅員配置駅はどこなのか、また、10駅それぞれ待合スペース、車いすスロープ、トイレの有無について伺う。	産業振興部長
		(2)　黒部宇奈月キャニオンルート開業が能登半島地震による鐘釣橋への落石被害で6月30日から延期となる報道があった。 今後、想定すべき具体的な影響と取るべき対策について伺う。	産業振興部長
		6　道の駅「KOKOくろべ」について	
		(1)　「JAくろべ」が指定管理者としてオープン時から運営してきたが、新年度より「(株)ジェック経営コンサルタント」に変更することになった。 これまでの指定管理者もチョコレートメーカーのロイズを誘致するなど賑わいづくりに力を注いできたが、新しい指定管理者とどのように道の駅の活性化を図っていくのか伺う。	都市創造部長
		(2)　コンテナ型宿泊施設が注目されているが、開業はいつなのか、また、料金体系について伺う。	都市創造部長
		(3)　隣接する総合公園、体育センター、美術館、より広くでは清水の里・生地からフィッシャリーナや大島キャンプ場など石田浜エリアの観光交流拠点との一体化、一体感の醸成を今後進めるべきと考えるが、市としての見解を伺う。 また、高橋川の歩道橋新設や「スタバ」の誘致について伺う。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	木島信秋 (一括方式)	７　道の駅「うなづき」について	
		(1)　麦酒館の経営状況と課題について伺う。	産業振興部長
		(2)　黒部宇奈月キャニオンルート開放により、新たな来訪者が増えることが見込まれるエリアである。 　黒部峡谷の入口であり、出口でもある立地条件を活かし、楽しみながら黒部の歴史や文化を理解したり、郷土書籍を含めた図書を活用しながら黒部の魅力を発信したり、新規来訪者の開拓や満足度を高めるためにも麦酒館に隣接する施設と一体的にPRすべきと思うが、市としての見解を伺う。	産業振興部長
		８　魚の駅「生地」について	
		(1)　「とれたて館」と「できたて館」の経営状況と課題について伺う。	産業振興部長
		(2)　道の駅「KOKOくろべ」との連携に加えて、隣接する黒部市コミュニティセンターの北方領土史料室とのタイアップにより生地の歴史をPRすべきと思うが市としての見解を伺う。	産業振興部長
		(3)　今年は開業20年の節目である。 20周年を記念してイベント等の企画があるのか伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川　恵　二 (一問一答方式)	**1　能登半島地震に関連して**	
		(1)　地震時の対応としての教訓はどうとらえているか	防災危機管理統括監
		(2)　避難所トイレへの緊急時の対応について 上下水道が不通になった際なども考え、トイレカーなどを常備しておくべきではないか	防災危機管理統括監
		(3)　備蓄物資について 雑魚寝を解消できる物資をもっと備蓄品に加えるべきでは	防災危機管理統括監
		(4)　避難所としての体育館の活用について 今はどういう扱いなのか	防災危機管理統括監
		(5)　避難所となる体育館の冷暖房化の加速について 国の各種助成制度もあると聞くが活用しないのか	教育部長
		2　黒部市都市計画マスタープランの見直し中間報告について	
		(1)　新幹線駅について、交流拠点から広域交通の拠点へと。駅の機能については交流機能、商業機能がなくなり、交通結節機能と観光情報機能だけになりました。いわば機能の縮小転換としか読めませんが、その通りですか	都市創造部長
		(2)　令和5年度に新幹線駅の乗降者数調査が行われていますが、どういう結果か、またこの機能縮小と関連はありますか。	都市創造部長
		(3)　この転換について、地元振興会や元地権者たちにはきちんとした説明が行われていますか	都市創造部長
		(4)　令和5年度に生地駅周辺調査がなされているようですが、その調査結果についてお伺いしたい。変更への基礎調査ともなったのか	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	長谷川　恵　二 (一問一答方式)	２　黒部市都市計画マスタープランの見直し中間報告について	
		(5)　令和6年度予算案に生地駅周辺施設検討業務委託費が計上されているが、施設検討への素案はあるのか。	都市創造部長
		(6)　活性化協議会なる団体についてお伺いしたい。どういう団体として市は扱っておられるのか	市　　長
		３　ゼロカーボンシティ宣言について	
		(1)　目標年度が2050年というのは遅すぎるのでは	市　　長
		(2)　R6年度予算案の中では、市内施設のLED化や電動自動車の導入以外で、直接的な削減策は見当たらないが、何かありますか？	市民福祉部長
		(3)　この削減策で年間のCO2削減量は、どれほどになると試算されていますか。	市民福祉部長
		(4)　パートナー制度登録については、目標がアンケート通り20%というのはいかがなものか。先進事業者とこれから取り組む事業者に分けてもっと高い目標設定にしてはどうか	市民福祉部長
		(5)　マイクロ水力発電の活用は、黒部川扇状地に位置する黒部市にとっては極めて魅力的な施策と思われるが、検討状況はいかに	産業振興部長
		４　令和６年度予算案の歳入のうち地方消費税交付金について	
		(1)　10．3%もの大幅減額の具体的な理由について伺う	総務管理部長
		(2)　きわめて安定的な財源として導入された消費税であるが、これまでもこんなことが繰り返されているのか	総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
		1　能登半島地震後の対応について	
10	野村康幸 (一括方式)	(1)　津波ハザードマップを基本に、市民に対しホームページや広報・SNSで情報周知しているが、今回の地震及び津波によって情報発信力の弱さが見えてきたと考える。誰一人取り残すことなく安心して生活するためにも、各地区に見合った避難・対応をまとめた保存版のチラシを配布し、市民に正しい認識を持ってもらうべきではないかを問う。	市長
		(2)　今回の地震によって「津波警報が出た場合、沿岸部の方は山間部に車で避難してくる」ことが見えてきた。480名弱の方が山間部の避難所に避難され、うち430人程度の方が沿岸部の方であり、徒歩での避難が基本ではあるものの、様々な事情により車での移動となったことを考えると、遊休施設等の活用をするべく、宇奈月中学校校舎及び体育館を津波避難者用避難所として追加指定すべきと考えるが見解を問う。	市長
		(3)　環境省は東日本大震災での経験から、飼い主の自己責任の下でペットを連れて避難する「同行避難」を推奨してきた。今回、避難所運営者が、他の避難者の目もあり、受入れをためらったケースや、玄関先での受入れ、ケージに入れることを条件に飼い主の横で受け入れるケースなど様々であったと聞いている。改めて、同行避難についての本市の見解を問う。	防災危機管理統括監
		(4)　今回の災害を受けて、本市全体の避難所運営における同行避難の実績について問う。	防災危機管理統括監
		(5)　自主防災組織で準備していた備蓄品では足りず、行政に追加要請を行ったが、到着までに時間を要し、その間に帰宅された方もいたとのことだが、各避難施設からの物資の追加要請に対し、到着まで時間を要した原因について問う。	防災危機管理統括監
		(6)　令和5年3月定例会において、私が質問した「どこに何が備蓄されているか一目でわかるような一覧表を市内各公民館をはじめとした公共施設に配布・掲示することで更なる啓発に努めるべき」との問いに対し、当時の統括監は「提案に対し検討し実施する」との回答であった。今回の聞き取りを受けて、未だ掲示がなされていないように見受けられるが、改めて、備蓄品一覧表の掲示若しくは配布がされているのかを問う。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	野村康幸 (一括方式)	**1　能登半島地震後の対応について**	
		(7)　本市において、市内小中学校へ避難された方が大勢おられたことから、市内小中学校へ非常用食料や非常用備品を一定数備蓄できないかを問う。	市長
		(8)　水道管の耐震性を備えた割合を示す「耐震適合率」について、2021年度末時点で、全国平均41．2％であるのに対し、富山県は42．5％と全国平均を上回る数字が出ている。本市の上水道における基幹管路の耐震適合率は何％で、今後の計画について問う。	都市創造部長
		(9)　今回の能登半島地震を含め阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震のように大震災の都度「災害拠点には整備したい」と言われるのが『命をつなぐ』とも言われている「防災用井戸」である。市内の水道のほとんどが水道管で配水されており、今後大きな地震に見舞われた際、寸断することも考えられることから、指定緊急避難場所や津波避難場所に災害用の井戸を設置するべきと考えるが見解を問う。	市長
		2　原油価格高騰対策について	
		(1)　燃料価格高騰の高止まりが続くことに対し、今後の動向も含めた本市の見解を問う。	市長
		(2)　昨年4月政府において、原油価格高騰対策・安定供給対策・中小企業対策・生活困窮者等への支援の4つを柱とするコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を策定したところであり、エネルギーに関しては、ガソリン1リットル当たり168円を基準価格として補助率を設定しているところである。富山県内におけるガソリンの給油所小売価格の推移は2023年8月の196．1円をピークに、先月は175．1円とピーク時より21円下落しているものの依然高止まりが続いている状況である。「物流の2024年問題」が本年4月より適用されることもあることから、本市において独自の基準を設けた「燃料高騰対策支援」を行えないかを問う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	野村康幸 (一括方式)	**３　宇奈月温泉スキー場について**	
		(1)　正式名称は「宇奈月温泉スキー場」だが愛称は「宇奈月スノーパーク」である。ホームページで『宇奈月温泉スキー場』と検索すると宇奈月スノーパークのページに飛び、日本のみならず世界に情報を発信している。本市はあの施設をスキー場と認識しているのか、スノーパークとしても利用できる施設と認識しているのかを問う。	市　長
		(2)　今季の営業日数は雪不足の影響もあり28日間、延べ3，559人の客数であった。営業期間中、休業がありその主原因は雪不足であるが、理由の一つに「1号林道に雪がなくなったら休業」だと聞いた。休業の条件は様々あるとは思うが、今まで、林道に雪がないことを理由に休業したと聞いたことがない。関係者によれば、「今年からできた新ルール」とも言われているが、納得はいっていない。そこで、改めて、宇奈月スノーパークの休業条件について問う。	産業振興部長
		(3)　今定例会新年度予算に宇奈月温泉スキー場事業費が計上され、その中には通年化事業費も盛り込まれ、1号リフトには安全バーが設置されることも予定されており、いよいよ、通年化に向けて動き出すのではないかと考える。「通年」ということは、1年を通してということだが、そうなると、「冬場に休業」という概念がなくなると思う。改めて、冬場のスキー場利用だけではなく、スノーパーク(冬の公園)として機能させていくべきだと考えるが見解を問う。	市　長
		４　観光支援について	
		(1)　東鐘釣山からの落石による鐘釣橋の損傷により、トロッコ電車の全線開通時期が不透明となったことで、旅行商品販売の延期が確定した。黒部宇奈月キャニオンルートは予定通りの一般開放に間に合うのか、現時点での本市の見解を問う。	市　長
		(2)　本市においても、早期復旧に向けて一刻も早く、かつ円滑に工事が進捗するよう国への働きかけを行うことや、国の支援に加えて市としても協調支援などを検討し、一般開放に向けて最大限の努力と下支えをすべきと考えるが見解を問う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	野村康幸 (一括方式)	4　観光支援について (3)　黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放は予定に示された通り行うことを望むものであるが、不透明な部分があるのは確かである。全国からの注目度も非常に高い事業であるからこそ、延期等によって「風評被害」を受け、客足が遠のくことを懸念する。宇奈月温泉の新たな100年に向けた大事な初年度。本市としてもイベントだけではなく、しっかりと下支えしていかなければならないと強く感じているが、本市においても、国の「北陸応援割」県の「とやま応援クーポン」に続く観光支援策として「くろべ応援割」のような施策を打ち出すことは出来ないかを問う。	市長

○一括方式とは
　議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは
　議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式